

京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(3 年計画の 1 年目)

1. 研究課題

(和文) 東アジア近世の地域をつなぐ関係と媒介者

(英文) Inter-regional relations and mediators in early modern East Asia

2. 研究代表者氏名

岩井茂樹

3. 研究期間

2014 年 04 月 - 2017 年 03 月 (1 年度目)

4. 研究目的

近年の中国の経済的・政治的抬頭は、東アジアのみならず世界秩序全体の構造変化を促す大きな要因である。これにともない、過去の東アジアにおける諸国家および諸地域間の関係と秩序がどのようなものであり、それをいかに評価すべきかという問題に歴史学は大きな関心を寄せるようになった。19 世紀中葉まで、中国の「天朝の秩序論理」が地域間関係が具体的に形成されるうえでさまざまな影響を及ぼすと同時に、地域間の物流に依存する個人や集団が政治外交の担い手とは異なった固有の利害状況にもとづいて、秩序形成に関与してきた。国家の立場から表出される政治外交的な利害と、地域間媒介者の立場から表出される個別的・私的な利害との間の対立や協調に着目することによって、地域のあいだに結ばれる関係の形成過程と、そこにはたらく論理とについて理解を深めることを、この共同研究の目的とする。

5. 本年度の研究実施状況

課題についての研究報告をおこなう研究会を計 9 回開催したほか、研究班のサブグループによる『道咸宦海見聞録』の会読をおこなった(計 21 回)。これは 19 世紀に翰林官および地方官僚を歴任した張集馨(1800 年~1879 年)が遺した自編年譜および日記からなる史料である。会読にさいしては電子テキストを作成し、その校訂作業を併せておこなっている。

8. 共同研究会に関連した公表実績

とくになし。

10. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	機関数	参加人数					延べ人数				
		総計	外国人	大学院生	若手研究者	女性数	総計	外国人	大学院生	若手研究者	女性数
所内	1	7	1	0	4	1	147	2	0	64	8
学内(法人内)	1	7	6	6	0	2	114	109	111	0	24
国立大学	5	6	0	0	3	1	58	0	0	7	7
公立大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
私立大学	3	3	0	0	1	0	54	0	0	6	0
大学共同利用機関法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
独立行政法人等公的研究機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民間機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外国機関	2	3	3	1	1	1	20	20	18	0	18
その他											
計	12	26	10	7	9	5	393	131	129	77	57

11. 本年度 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数

参加研究者がファーストオーサーであるものを対象

総論文数	0
国際学術誌に掲載された論文数	0

※ () 内には、拠点外の研究者による成果(内数)を記載

論文における重要な役割を果たした実績を示す必要がある場合

役割	
総論文数	0
国際学術誌に掲載された論文数	0

※ () 内には、拠点外の研究者による成果(内数)を記載

高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載された場合

掲載雑誌	掲載論文数	主なもの	
		論文名	発表者名

※拠点外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す

インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合

理由			
掲載雑誌	掲載論文数	主なもの	
		論文名	発表者名

※拠点外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す